



「闘う土地改良」 ～農政の新たな ステージに向けて～

食料安全保障の確立に向け参議院農水委で審議

食・農山漁村・ 土地改良は 未来への礎

令和6年度予算政府原案が決定

持続的な賃上げや活発な投資がけん引する成長型経済を目指し、総合経済対策の推進、国民への還元、人口減少と国民のニーズの多様化・複雑化にこたえる新たな地域づくりの仕組みづくりや地方創生を進めていくため、総額約112兆円の令和6年度予算政府原案が12月22日に閣議決定されました。

令和6年度農林水産関係予算案

総括表

区分	5年度 予算額	下段()は前年度比 6年度 予算額	5年度補正 予算額
	億円	億円 (100.0%)	億円 (100.0%)
農林水産予算額	22,683	22,686	8,182
1 公共事業費	6,983	6,986	3,592
一般公共事業費	6,782	6,784	2,848
災害復旧等事業費	201	202	744
2 非公共事業費	15,700	15,700	4,590

公共事業費一覧

区分	5年度 予算額	6年度 予算額	5年度補正 予算額
	億円	億円 (100.1%)	億円 (100.0%)
農業農村整備	3,323	3,326	1,777
林野公共	1,875	1,877	745
治山	623	624	268
森林整備	1,252	1,254	477
水産基盤整備	729	730	300
海岸	81	81	26
農山漁村地域整備交付金	774	770	—
一般公共事業費計	6,782	6,784	2,848
災害復旧等	201	202	744
公共事業費計	6,983	6,986	3,592

農林水産関係では、現下の課題に対処するため、11月31日に成立した総額8182億円の補正予算に続き、2兆2686億円の令和6年度予算原案が決定しました。政府原案では、「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」を踏まえ、食料安全保障の強化、環境対応、人口減少への対応の

また、新たな花粉症対策の展開に加えカーボンニュートラルの実現を目指した森林・林業・木材産業によるグリーン成長や、水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化の実現、地域を支える漁村の活性化の推進等の所

3本柱を中心に、新しい資本主義の下、若者や意欲ある農林水産業者が夢を持つて農林水産業に取り組めるような環境整備、元気で豊かな農山漁村の次世代への継承等を実現するため、食料の安定供給の確保、農業の持続的な発展、農村の振興、緑の食料システム戦略による環境負荷低減に向けた取り組み強化、多面的機能の発揮等を進めることとしています。

要の対策を講じることとしています。次期通常国会に食料・農業・農村基本法改正法案の提出も予定されていますが、農林水産業の発展や活力ある農村漁村を創るため、令和6年度予算や関連法案の早期成立に向け頑張っています。

参議院予算委員会理事等に就任

前臨時会から、参議院の農水委、予算委、災害対策特委、資源エネルギー調査会に所属し、予算委及び資源エネ調では理事の大役を仰せつかりました。これから始まる通常国会では、来年度予算の審議が始まりますが、早期成立に向け理事として頑張っています。



10/31 参議院予算委員会に理事として出席

農業農村整備事業関係予算案

区分	5年度 予算額	6年度 予算額 A	5年度補正 予算額 B	合計 A+B
	億円	億円 (100.1%)	億円 (100.9%)	億円 (153.6%)
農業農村整備事業(公共)	3,323	3,326	1,777	5,103
農業農村整備関連事業(非公共)	543	548	—	548
農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 畑作等促進整備事業、農山漁村振興交付金				
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分)	591	588	—	588
合計	4,457	4,463	1,777	6,240

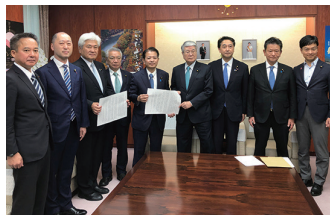
注) 1. 金額は関係ベース
2. 係数は、四捨五入のため、端数において合計と一致しない場合がある。
3. 合計 A+B の下段 () 書きは令和5年度当初予算額との比率である。

★ 予算等の詳細は宮崎雅夫 HPからどうぞ。

各種の会議や集会等に積極的に参加



10/11 第45回全国土地改良大会福井大会で挨拶



10/18 普及事業推進議連で農水大臣に要請



10/25 農林関係合同会議で物価高騰対策等について意見



11/7 全国各地から多くの皆さんが結集した「農業農村整備の集い」で挨拶



11/8 全国水土里ネット女性の会研修会で参加者の皆さんと



11/11 党野菜・果樹・畑作物対策委員会で北海道下を現地調査



11/19 漁港漁場漁村整備促進議連で三重県下の漁港を視察



12/6 森林整備・治山事業促進議連で財務大臣へ申入れ

国会よもやま話

通常の委員会での質疑時間は、「往復方式」（質疑者と答弁者の発言時間を合わせた時間）で割当てられるため、概ね予定どおりに終了しますが、参議院の予算委員会だけは、「片道方式」で割り当てられます（集中審議等を除く）。

「片道方式」とは答弁の時間を含めず質疑者の発言時間を保障する方式です。質問者が起立して着席するまでの質疑時間としており、慣れている議員は時間を有効に使うため立ったらずに質問し、終わったらさっと座ります。テレビ等で見られる際は気をつけてご覧ください。

予算委では、答弁が長くなり終了時間が大幅にずれることが多々あり、面談等を約束した方にお待ちいただき、ご迷惑をおかけしており申し訳ありません。



質疑者は、委員長席後方の残時間表示の時計を気にしながら質問しています。

宮崎雅夫 通信・メルマガ等の申込みは、HP 又は国会事務所まで

参議院議員 宮崎雅夫 国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 610 号室

電話：03-6550-0610 Fax：03-6551-0610

Mail：masao_miyazaki01@sangiin.go.jp

宮崎雅夫

検索

●ホームページ： <https://miyazaki-noson.jp/>

●Facebook： <https://www.facebook.com/miyazakinoson/>

●LINE： <http://nav.cx/nSLukr>

宮崎雅夫の 東奔西走

全国各地に伺い
皆さんと意見交換



10/1 徳島県下で土地改良関係者と意見交換



10/13 宮城県下の排水機場を視察



10/2 香川県下で土地改良関係者と意見交換



10/14 とっとり水土里の女性会の皆さんとさつまいもを収穫



11/5 秋田県土地改良事業推進大会で挨拶



12/4 栃木県下の土地改良関係研修会で講演



12/16 島根県下で土地改良関係者と意見交換



12/18 神奈川県下でイチゴ生産者と意見交換